

ゆりはま 議会だより

Vol. 77

令和5年5月1日 発行
発行：鳥取県湯梨浜町議会



湯梨浜町議会
ホームページはこちら



令和5年度予算
議会が附帯決議
こども園への意見と回答
一般質問

2

4

14

15

「ちょっとどきどき入園式」
(あさひこども園)

議会が指摘した

令和5年度予算事業

3月定例会は、2日から16日までの15日間の会期で行われ、令和5年度予算は予算特別委員会を設置して審査を行いました。

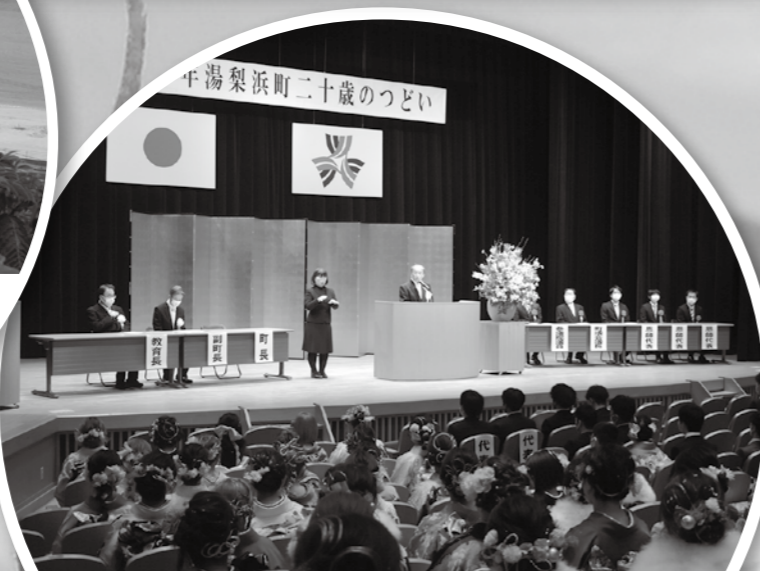
令和5年度予算をはじめ、補正予算、条例改正、人事案件など38議案を審議し、すべて原案どおり可決しました。また、議員提出議案3件も、原案どおり可決しました。



羽合漁港施設管理臨時経費

羽合漁港の適切な管理のため、施設内の浚渫砂を排出し、海岸浸食対策に講じる。
(関連記事は7ページ)

603万円



湯梨浜町若者会議事業

16歳から29歳までの若者で構成される「ゆりはま若者会議」を開催し、若者が町に対する政策提言を行う。(関連記事は6ページ)

37万円



空き家対策支援事業

特定空き家対策が進むよう事業に取り組む。特定空き家でない空き家への支援が必要では。(関連記事は6ページ)

1777万円



SIBを活用した飛び地型自治体連携事業

民間の資金やノウハウによって問題解決を図る手法を活用しながら、広域の自治体連携で健康寿命の延伸と医療費抑制に取り組む。
(関連記事は6ページ)

2494万円



こども園運営経常経費

保育士確保のため、人材派遣会社への委託が開始。職員の負担軽減、待機児童解消に期待。
(関連記事は7、14ページ)

3914万円



湯梨浜みんなのげんき館事業

高齢者向けの運動機器を導入予定。しかし、設置場所の計画や全体構想が説明不足。
(関連記事は4、6ページ)

6582万円



集落支援事業

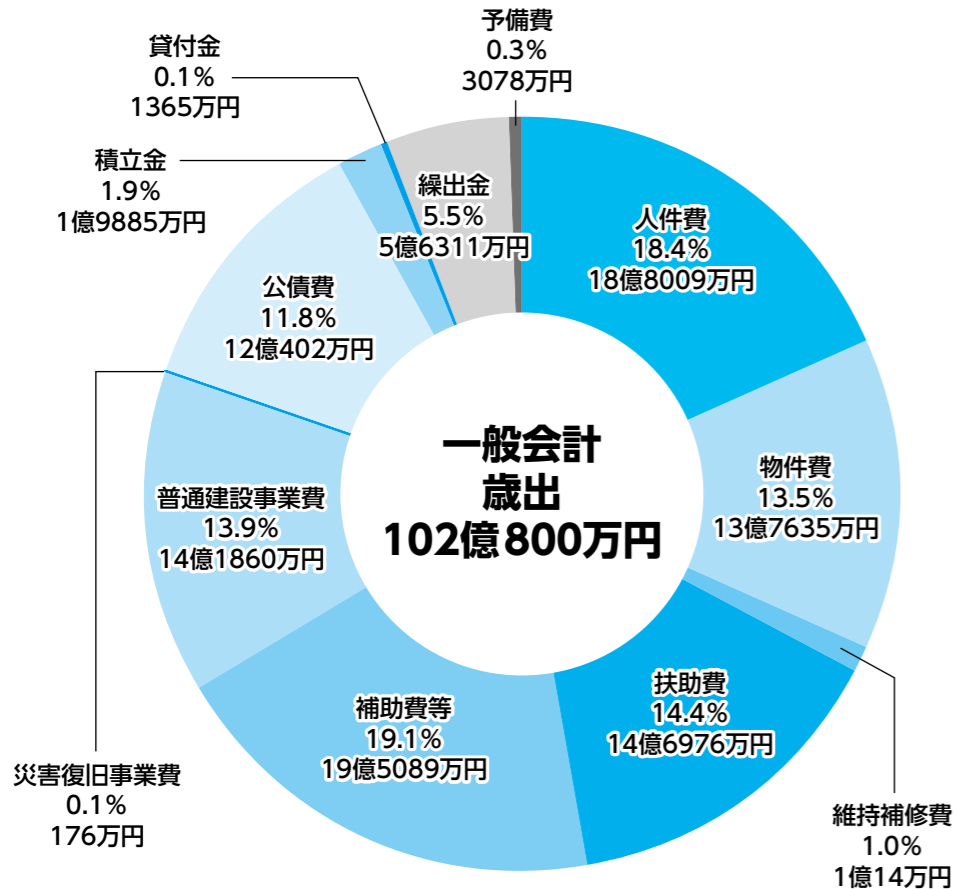
今年度、新たに新型コロナの影響により制限された集落活動の活性化を図る交付金を新設し、自治会活動を支援する。(関連記事は7ページ)

4020万円

★その他、議会が指摘した事業

- ①ふるさと湯梨浜応援基金事業 (2億8720万円)
- ②町営住宅立替事業 (4億1320万円)
- ③農地耕作条件改善事業 (6630万円)
- ④ゆうゆうゆりはま事業 (2190万円)
- ⑤社会資本整備総合交付金事業 (改良・改築) (6700万円)
- ⑥特別医療給付金 (9474万円)
- ⑦羽合小学校管理運営臨時経費 (3億880万円)
- ⑧体育施設管理臨時経費 (5930万円)

新上町団地(仮) 建設着手 積極予算102億

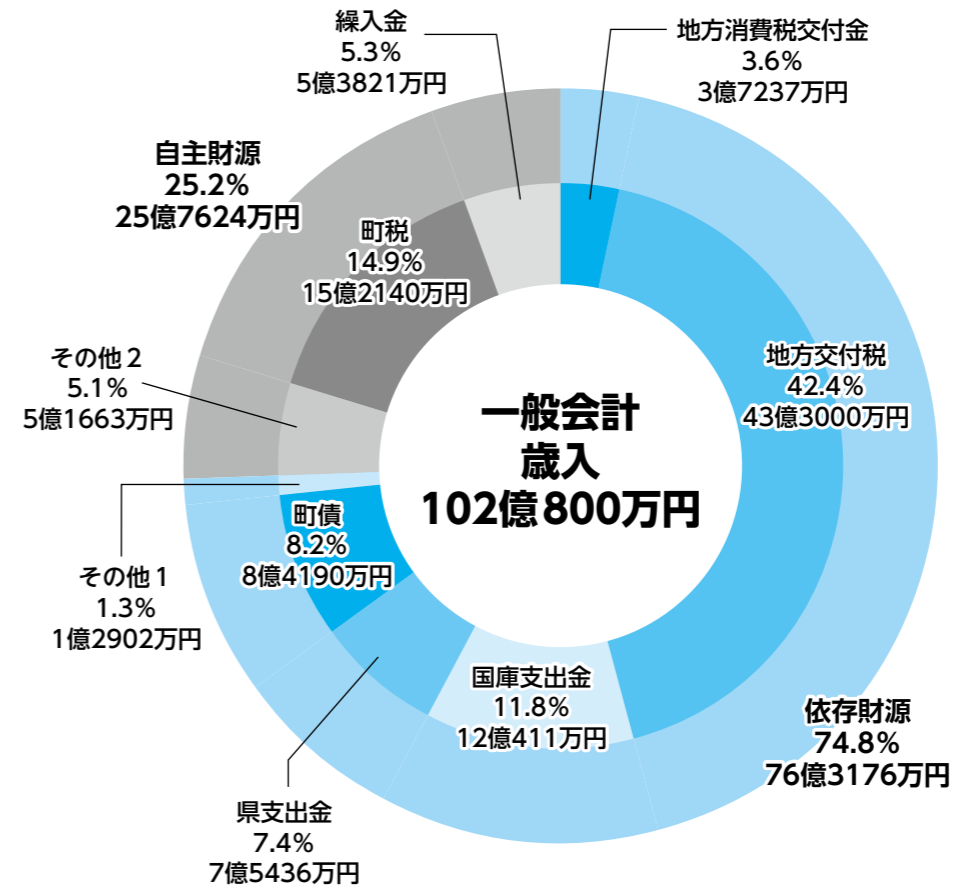


歳出

歳出では、継続事業として新上町団地の建設、新規事業として羽合小学校の教室増築が行われる。またDX(デジタル・トランスフォーメーション)、SDGs、脱炭素の3点を本年度から着実に展開していく。DXに関しては、自治体の情報システム標準化の一環として、小中学校の学齢簿をシステム化する。脱炭素に関しては、事業所への太陽光発電システムの設置支援を新たに行う。

用語説明

- 物件費 賃金、旅費、委託料、交際費などの消費的経費
- 線出金 特別会計に支出されるお金
- 扶助費 福祉手当、児童手当などの経費
- 公債費 町の借金返済に使うお金



歳入

歳入では、町税・固定資産税が増加し、町税が前年度より3027万円増加した。全体としては、前年度比2%増の102億800万円。

用語説明

- 自主財源 町に皆さんが納めるお金
- 線入金 貯金を取り崩して、支払いにあてるお金
- 依存財源 国や県から配分されるお金
- 国庫支出金 国から使いみちが決められたお金

今後十分に
説明していく



宮脇町長

本年6月には「新上町団地(仮称)」の建築着手や「たじりこども園」の建設工事着手など、一般会計102億800万円とし、前年を2億200万円上回る積極予算を組みました。
しかし今回、議会決議として「湯梨浜みんなのげんき館事業」の予算執行の見送りについて指摘を受けました。議会への説明が不十分であったことを深く反省し、納得いく説明ができるまで、予算の執行はしません。

一部事業見送りを
附帯決議



寺地予算特別委員長

予算執行にあたっては、公平、公正かつ町民の声を的確に把握し、均衡ある町の発展と特色あるまちづくり施策に取り組んでいきたい。
ただし、「湯梨浜みんなのげんき館事業」は、議会と十分な協議がなく、唐突に予算計上されました。議会としては、議会への説明や町民の納得が得られる状態になるまで、再検討を含め予算の執行を見送るべきと判断し、全会一致で附帯決議とします。

令和5年度予算特別委員会

令和5年度一般会計及び各特別会計・企業会計の当初予算を、予算特別委員会を設置し、審議しました。数多くの質疑がありましたので、その中の一部をお知らせします。

一部事業の見送り

☆議会としてはみんなのげんき館事業の執行を見送るべきと判断し、全会一致で「事業執行見送りの附帯決議」を付けた。

問 今回の提案のげんき館事業の概要は。

答 現在のげんき館のトレーニング機器とは別



げんき館で体力増進

に、つわぶき荘内に高齢者向けのストレッチや関節可動域拡大用機器導入のため、約4300万円を計上した。

問 事業内容の説明が十分ではないか。

答 再度きちんと説明したい。

11月に若者が政策提言

問 会議に参加する若者の募集と会議のスケジュールは。

答 5月から7月にかけて16歳から29歳までの10人を募集する予定。会議自体は8月から11月の間に開催する。11

月までに会を終えて、提言内容を来年度の予算に反映させた

問 議論を促すための方策は。

答 大学の先生に会議の進行やあり方を含めて相談している。

問 役所以外の場所で、会議をできないか。

答 若者が来やすい環境を作る必要があると考えている。対面とオンラインのハイブリッドの会議なので、技術的に可能かも見極めて対応したい。

SIBで健康寿命を延ばす

☆連携事業も最終期（5期）を迎え、成果を出す。

問 広域の自治体と連携しているが、現在はこの自治体か。

向に向かうためである。

問 派遣の方にも本町の子育ての方針や園の方針をしっかりと伝える必要があるのでは。

答 双方が確認しながら契約を交わしていく。

適切な漁港管理

☆港内の砂を取り除き、海岸浸食対策を講じる。

問 港内の砂を取り除く浚渫事業は組合管理としての確な事業ではないと思

答 現在の管理組合は、漁港の秩序維持が目的で設立され運営されている。浚渫はそのために必要な事業である。

問 組合員になるための要件など、規約の内容なども存続のために点検すべきではないか。

答 このプロジェクトは4期目に入っている。現在は、大阪府高石市、福岡県飯塚市、奈良県田原本町と連携している。

問 何を連携しているのか。

答 運動習慣化で得られた他自治体の情報共有や、連携による全体の事務コストの削減ができています。

問 令和4年度の評価では、目標歩数、高齢者割合が低迷し、会員数も低下している。全体の状況は。

答 目標会員数を4年目770名としており、現在731名。会員数はほぼ達成し、参加者の1日の歩数は増加している。健康意識も高まっている。

問 連携自治体では効果が出ている。先進事例のデータを共有しPRしては。

答 今後、医療費の分析結果が出る。並行して先進事例を紹介していく。

特定空き家への支援

☆倒壊など危険度の高い空き家の解体を支援する。

問 周辺住民の不安解消のため積極的に取り組まれないか。

答 令和2年度末から令和4年度末までに特定空き家を19戸除却した。本年は10戸を予定している。

問 移住定住対策以外の視点で、空き家の維持管理に努める方への支援も必要でないか。

答 貸す予定のない空き家には助成制度はない。なるべく移住定住につながる活用をしていく。

保育士不足を派遣で対応

問 本年度は人材派遣会社から10人受け入れるが内容は、派遣保育士の研修はどうなっているか。

答 前年度並みに子どもを受け入れたいため、派遣会社から有資格者を受け入れたい。

派遣保育士の研修は派遣会社が行う。

問 10人受け入れの根拠と、委託費3830万円の根拠は。1時間1900円は町の職員と比べて高いのでは。

問 派遣を受け入れたらうまく行ったので継続して派遣を受け入れるということになるのでは。子育ての町の姿勢が問われるのでは。

答 1年間の予定であり、定着させる気はない。コロナ禍で園全体が疲弊しているので、その状態を緩和したい。また、課題を整理し是正の方



園児が楽しく過ごせるように



みんなで楽しく交流会（橋津地区）

答 水産業発展のために、組合員資格の門戸をひろげることも提案しながら一緒に検討する。

問 砂の処理に対する費用は、今後必要に応じて措置するの

答 県の補助対策事業としてサンドリサイクル事業を実施する。

問 アフターコロナ対策臨時交付金というソフト事業が新たに追加された。その意図は。

答 少子高齢化や新型コロナウイルスによって、集落活動が縮小しているため、集落支援の強化に取り組みたい。

問 交付金以外の支援強化の取り組みは。

答 職員が現場に出る機会を増やしたい。具体的には、集落支援の支援員を配置し、集落ごとの課題や現状を把握し、対策に取り組みたい。

集落活動を支援

☆集落が実施する交流活動や防災活動などに対して、町が支援する。

請願・陳情審査

常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

請願

件名	請願者名	採決結果
消費税インボイス制度の実施中止を求め請願	鳥取県民主商工会連合会 会長 奥田 清治	不採択

陳情

件名	陳情者名	採決結果
所得税法第56条の廃止を求める陳情書	民商鳥取県連婦人部協議会 会長 西田 美津子	不採択
子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書の提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会 会長 石井 由加利	採択 全会一致 (国に意見書を送付)
日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情	コドソラ 代表 与那城 千恵美	不採択
国による学校給食無償化を求める陳情	新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内 淳子	採択 全会一致 (国に意見書を送付)
「安保関連3文書」閣議決定の撤回、「敵基地攻撃能力」の保有や防衛費2倍化に反対する意見書の提出を求める陳情書	憲法改悪反対 鳥取県共同センター 代表 田中 暁	継続審査
安保関連3文書の閣議決定に抗議し、大軍拡・増税の中止、暮らしと福祉に予算をまわすよう求める「意見書」採択を求める陳情	平和・民主主義・豊かな暮らしをめざす鳥取県の会 (鳥取県革新懇) 代表世話人 山内 淳子	継続審査
政府に食料自給率の向上、持続可能な農業経営と農村を守ることを求める陳情書	鳥取県農民運動連合会 会長 雑賀 敏之	継続審査

ファクシミリ・電子メールでの提出も受け付けます！

請願、陳情の提出時に本人確認ができる書類を提出いただける場合は、ファクシミリ・電子メールでの提出が可能です。本人確認書類や記載内容、提出先など手続きに関する情報は町ホームページをご確認いただくか湯梨浜町議会事務局へお問い合わせください。



1月臨時会 補正予算

谷奥ため池の改修に着手

・土地改良事業
283万円

緊急性の高い、谷奥ため池の早期改修工に必要な測量設計を行う。また、原水田給水施設や羽合土地改良区の電気代・燃料代等の農業水利施設省エネルギー化推進対策を行うための補正予算。

高収入品種への切り替え支援

・鳥取柿ぶどう生産振興事業
119万円

町内ぶどう生産農家のシャインマスカット苗木購入費の支援。高収入品種への切り替えで産地の活性化と生産者の所得向上を図る。

3月定例会 条例

町議会での個人情報保護

☆湯梨浜町議会の個人情報の保護に関する条例

令和3年の個人情報保護法の改正により、町議会が新法の対象外となった。そのため、新たに町独自の「湯梨浜町議会の個人情報保護に関する条例」を制定し、町議会における個人情報の適正な取り扱いに関する必要事項を定めた。



ONUを80台購入

・ゆりはまネット臨時経費
458万円

加入者側受信機(ONU)を80台購入する経費。国際情勢の影響でONUの納期に1年ほど要する見込みであるため、次年度途中に在庫不足が生じないよう今年度内に納品可能な台数を購入する。

デジタルを生かした課の新設

☆湯梨浜町課設置条例等の一部を改正する条例について

デジタルを生かした広報力の強化と地域戦略を推進する体制構築のため、みらい創造室を「デジタル・みらい戦略課」企画課

3月定例会 その他

東郷運動公園の指定管理者決まる

☆指定管理者の指定について



再編されたデジタル・みらい戦略課

を「まちづくり企画課」として再編。「デジタル・みらい戦略課」にはDX広報係とみらい創造係を置き、「まちづくり企画課」には政策企画係と共創まちづくり係を設置。



多様なスポーツを楽しめる東郷運動公園

条例に基づき公募を実施した結果、指定申請があり、指定管理者選定委員会(7人)で審査・選定が行われました。管理者は、株式会社チユウブ。指定の期間は、令和5年4月1日から令和10年3月31日までの5年間。管理料の年額は1370万円。
選定基準は①提案が町にとって有益なものであること、②公園の管理計画が優れていること、③施設の管理を安定して行う能力を有すること、④現在の職員等を採用する意思が認められることなど。

肥料の注文に補助拡大

☆肥料高騰対策事業において、国の事業費が令和5年度へ繰越となる。令和4年6月から令和5年5月までに注文・購入した肥料が対象となった。受付は7月頃になり、支払いは9月頃を予定。

問 前回と今回とで何か変わる部分があるのか。
答 前は秋肥分。今回は今年5月までの注文が対象となる。また、前回申請漏れのものも併せて受付ける。

問 手厚くなったという理解でいいか。
答 前はスケジュール自体がタイトだった。国が延期するという事で、それに合わせた。



早期支給が待たれる拡大補助

町の未来図を提示

☆①活躍しごと②人の流れ③住まい④健康づくり⑤交流居場所の5つの項目の充実で、若者定住と都市圏移住を受け入れ、持続的地域社会の形成を目指す将来像と、全体構想、事業概要、費用が示された。

問 未来図に向けて取り組むべき課題は。
答 まちづくりを進めるにあたって、例えば雇用力が小さい、経済循環率が低いなどの、本町の構造的課題に対し具体的な事業の支援を行なっていく。



生涯活躍のまち推進事業の全体構想の資料

問 支援の率は変わらないか。
答 国が7割、県と町とで1割ずつで、9割支援で自己負担が1割で変わらない。

問 5類によるコロナ対策を機に積極対応
答 ☆水明荘では、12月中旬以降、コロナ感染拡大により、キャンセルが相次ぎ、経費削減や営業業務の見直しを図った。今後は、ウィズコロナ時代の到来を見据え、積極的に営業展開を図るとの報告を受けた。

問 ワークেশョンの見直し、法要受入れ見直しと
答 ワークেশョン誘致としてPR小冊子を作成した。法要は少人数での受入体制を強化する。

問 温泉むすめのはわい東郷浮乃が人気だ。温泉むすめを通じて旅客数を増やせないか。
答 温泉むすめファンが多いので、商品グッズ販売や宿泊プランなどに取り入れる。

問 倉吉に県立美術館ができるが、それについて考える方は。
答 現時点では具体的に考えてはいないが梨記念館にパンフレットを置き、PRしていく。

問 コロナ感染対策が2類から5類になる。3月13日からはマスクも個人の判断と。どう対処するのか。
答 体温計や消毒液の設置、従業員のマスク着用など、感染対策は引き続き取っていく。

問 コロナ感染拡大に伴い、物価高騰の負担軽減策として、水道料金の基本料金相当額を給付。あわせて、地元管理水道の今後の運営体制について、町管理とする場合の概算費用・スケジュールなどを提示。
問 令和5年度のスケジュールに示された概算費用とは何か。
答 加入金や使用料の概算。

地元管理水道の町管理移行を検討中

☆コロナ感染拡大に伴い、物価高騰の負担軽減策として、水道料金の基本料金相当額を給付。あわせて、地元管理水道の今後の運営体制について、町管理とする場合の概算費用・スケジュールなどを提示。

問 令和5年度のスケジュールに示された概算費用とは何か。
答 加入金や使用料の概算。

問 いつまでに町管理に移行するのか。
答 今回は移行確認の報告のみ。今後、町管理にするための試算調査、評価を行う必要がある。そして、町管理のメリット・デメリットを示し判断をいただく。

防災対策で改修

☆宮内奥ため池については、令和4年度に実施設計や地元との協議が行われ、令和5年・6年の2か年で工事が行われる。貯水量は現状と同様の計画だが、改修後は堤長・堤高とも現在より大きくなる。200年に一度の最大洪水にも対応できるように改修。

問 取水方式は、ため池栓方式とのことだが、栓は必要ときだけ使用するのか。
答 取水が必要なときには取水口を開け、掃除等で水を抜く時には栓を抜いて流水する方式。

問 防災という観点で、工事に係る地元負担はあるのか。
答 防災重要ため池という観点で補助を行うため、地元負担はない。

農地の取得に係る面積要件が廃止に

☆農地の権利を取得または設定する際に下限面積要件があったが、農地法が改正され、令和5年4月1日から廃止となった。

問 取得の申請について、許可しないことがあるのか。
答 農地をきちんと管理し耕作できるか、裏付けが必要。

問 取得後、農地転用の申請があったら。
答 農業委員会は、所有権について取り消しはできない。悪意のある転用に対して指導していく。

町道泊中央線、災害復旧に向け国と協議中

☆災害復旧工事の範囲と工法について、国と協議中。決定



復旧が待たれる町道泊中央線

問 後、査定を受けるための詳細の設計に入る。
答 協議は順調に進んでいるか。

問 どこが滑り面か、議論が長引いている。4月以降、早めに査定が受けられるようにしたい。
答 進んでないように思われるので、住民への説明が必要では。

問 近隣の施設、区長に現状の説明を行う。
答 近隣の施設、区長に現状の説明を行う。

再び増築 羽合小学校

☆羽合小学校では、令和6年から令和10年にかけて通常学級が3学級増加する見込み。また、特別支援学級も増加し、教室が不足するため、3教室とトイレを増築するため基本設計を行った。（関連記事は18ページ）

問 概算工事費と今後のスケジュールは。

答 総額は2億9961万円。財源は、学校教室施設等整備事業債を活用。



教室の完成イメージ図

現在、実施設計に着手しており、7月には工事着手し、令和6年3月の完成を目指す。

問 物価高と材料不足が主な要因で、学校の改編や開設の遅れが各地で問題化して

いる。工期内完成は大丈夫か。

答 当初、鉄筋コンクリート造りの検討もしたが、工期の短縮が図れる鉄骨造りの工法を選択した。

資材の入荷状況は、不透明なところがある。工期内完成を目指し、早い発注を目指したい。

安全な自転車通学路の確保を

問 ☆昨年末、羽合小学校横の歩道で自転車通学中の湯梨浜中学生が警察官の取り締まりを受けた。その後、学校・PTA・警察などさまざまな動きがあり、対策が検討されている。

問 改めて警察の見解は。

答 歩道の自転車通行は幅3メートル以上なければできない。中学校横は幅があるが、羽合小学校横はない。そのため、小学校横は行き帰りとも、車道の左側を通るしかない。



安全な通学路の確保が課題

問 3メートル以下の歩道でも、自治体によっては通れるところもあるが本町の対応は。

答 横浜市や愛媛県では独自に条例を作って通れるようにしている。本町でも条例で対応できるか前向きに検討したい。

被災墓地に町が支援

☆町内にある墓地施設が自然災害により被災した場合、町が応分の助成を行い、墓地の機能及び公衆衛生の維持向上を図るため、

湯梨浜町墓地災害復旧支援事業費補助金交付要綱を制定した。災害復旧に要する費用が20万円以上のものを対象とし、100万円を限度に3分の2を町が助成する。

問 対象となる大雨洪水とは。

答 国で定められている最大24時間雨量80ミリ以上、時間雨量20ミリ以上の雨量であり、どちらでも対象になる。

問 支援の対象となる墓地は。

答 町設置の東郷の1か所と管理契約を交わしている泊の2か所の墓地の対応は現行のままとする。他の公益性の高い財産区管理、区の管理の墓地については、大雨風水害、地震等の採択基準を設けて運用する。

指定管理は再び

(株)チュウブへ

☆町は、令和5年4月1日から5年間の東郷運動公園の指定管理者を公募。選定委員会の審議結果を踏まえ、株式会社チュウブを指定管理者とした。

問 コロナ禍で施設利用料が減っているため、外部委託料を減らし、支出を抑える計画。だが、内部職員の負担は増える。仕事量の割に賃金が抑え込まれる構造になっっているのでは。

答 (株)チュウブが外部委託している仕事を内部でやりくりする提案がされた。町としては、指定管理料を増額しているが、施設利用を増やし、利用収入を上げてほしい。



楽しく遊ぶ子どもたち (東郷運動公園)

問 選定委員会は、どのような点を評価したか。

答 (株)チュウブは、鳥取県全体でも多くの体育施設などの管理をしている。そういった施設を一体的にPRして合宿の誘致を行っている点が評価された。

問 選定委員会に関する報告がなかった。指定管理に至るまでの経緯の報告も遅いのでは。

答 選定委員会があったときに、結果を議会に報告するのが原則と考える。ルール化して今後は適正な時期に報告したい。

新型コロナウイルスワクチン追加接種

☆令和5年度の新型コロナウイルス追加接種可能な全ての年齢の方が対象。9月から12月にかけて1回接種を行う。重症化リスクが高い方等については、5月から8月に

かけてさらに1回接種を行う。

問 ワクチン接種対象者への案内は、これまでと同様か。

答 基本的に方向性が変わったところもあるが、対象の方には改めて通知する。

問 これまでは、ホームページで集団接種、個別接種を選んで予約ができていたが、今後のワクチン接種の予約方法は。

答 ベースは医療機関での個別接種を考えているが、集団接種も中部で協調し進めていく。現在の予約システムを今後も継続する。

全国大会出場者をみんなで応援

問 他の町村では、懸垂幕や電光掲示板などで応援している。本町でも町をあげて



ドッジボールの全国大会に出場 (アロハファイターズ)

応援しようとの気持ちも含めて対応してほしい。

答 周知して機運が盛り上がるようなもの考えた。町をあげて応援できるようにしたい。

問 過去に1〜2回の対応はあったが、いつの間にか立ち消えになっている。

答 その都度、顕彰に値するようなことが起これば適切にそのことを皆さんに知っていたことに努めていきたい。懸垂幕や広報を活用し取り組んでいく。

一般質問 町政を問う

3月定例会では、5人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

質問者	質問事項	ページ
小川 遊	テクノロジー新時代における魅力と活気あふれるまちづくりを	15
松岡 昭博	湯梨浜町農業の再生を求めて	16
	公共施設の管理は	
米田 強美	ひとり親家庭の養育費確保を推進しては	17
	子育て支援のさらなる充実を	
増井 久美	高校生通学費助成拡大を	18
	羽合小学校の教室不足の対応は	
信原 和裕	世界的な食糧危機の今、農林漁業施策の大転換を	19

テクノロジー新時代における魅力と活気あふれるまちづくりを

町長

新設の「デジタル・みらい戦略課」で積極的に推進



おがわ ゆう 小川 遊



チャットAIではAIがなんでも質問に答えてくれます。スマホで気軽に使えるサービスもたくさんあります。

AIを使ったサービスも多く登場している

【町長】①AIの急速な発展やデジタル化の進歩が身近になってきているが、デジタル化への本町の方針は。②セルフレジでの買い物など、市民の普段の生活でもデジタルと向き合う場面が増加しているが、急速な切り替えが負担になる人も多い。デジタルに慣れていくための場や機会の創出について本町の考え方は。③市民がデジタルに慣れ親しみ、助け合いながら生活や産業に活用しやすくなるような、町としての方針や取組み・環境の整備が求められるが、本町の考えは。

【町長】①4月の機構改革で「デジタル・みらい戦略課」を新設し、効率的なシステム導入を積極的に進める。②地域おこし協力隊による初心者向けスマホ個別相談会を役場・中央公民館等をはじめ、集落や団体単位でも実施している。今後も推進に努める。③光ファイバーネットワーク施設「ゆりはまネット」でTCCと連携し、情報環境の基盤であるネットサービス環境を提供する。ソフト面ではスマホ初心者への個別相談会や日常生活・仕事の面で活用を支援する。また国県等と情報共有し、新技術での産業・事業者の支援も図る。

こども園やその他子育て施設に対する意見について

令和3年9月、「給食の白ご飯提供についてアンケート」で実施した、こども園やその他町立の子育て施設に対する保護者から意見として、38人から寄せられた87件について、町から令和5年3月議会で次のとおり回答がありました。議会としては、町の方針を検討し対応します。

なお、コロナ禍対応、園の施設整備、紙おむつの処分、白ご飯提供については対応済みのため未掲載です。

対応します



保護者からの主な意見	町の対応方針
子どもたちの成長を活かす支援	子どもの姿、成長を確認しながら研修を実施
行事は可能な限り簡素化	行事の必要性も含め検討
給料アップ、人員増、負担軽減、臨時職員の正職員化	処遇は改善済。保育士不足については募集しているが、対応出来ていない。事務負担を軽減するためICTシステムを導入
保育の質が低い、言葉使いが悪い	研修による改善、レベルアップ
大型遊具の設置、とび箱、マットなどの運動用具の整備	遊具の修繕・設置は緊急性の高いものから実施中
保冷剤の禁止解除、制限の廃止、衣服の汚れ防止、絵本の購入・学習、保護者用HPの作成	保護者意見を参考とし、引き続き検討
保護者会費の返還	保護者会費は保護者会の協議が必要
田後こども園の移転、子育て支援センターの運営、病児保育の充実、未熟児の受入増、学童保育の遊具整備、公園の施設整備、子育て施設の場所の明示	状況を確認しながら、出来るものから改善

現状 対応困難



保護者からの主な意見	町の対応方針
町内こども園での休日保育の実施	休日保育はババール園で実施
盆保育は各園で対応	地域ごとに開園場所・方法を今後も検討
土曜日（有料を含む）の給食実施	調理員、保育士の配置状況から実施は困難
給食費（含白ご飯）の無料化	保護者実費負担が原則、今後も現状維持予定
3才の児童手当減額に伴う保育料減額、未満時の保育料軽減	児童手当の減額にあわせて保育料を減額すれば、児童手当は全員3年分なのに、保育料は生まれた月により違うため不平等

ひとり親家庭の養育費確保を推進しては

町長 多角的な観点から研究したい



よねだ つよみ 米田 強美



子どもが健やかに成長するよう、あらかじめの話し合いが大切 (法務省のてびき)

【問】①令和3年度の厚生労働省の調査によると、母子世帯のみの集計では、養育費の「取り決めをしている」50・2%、「受け取っている」37・7%と低い。情報提供や相談が大切だが、町長の所見を問う。

②養育費の立替と請求を行う民間保証会社がある。初回保証料の補助制度を導入する自治体があるが所見を問う。

③証拠性と強制執行力の確保のため、養育に関する取り決めを公正証書にすることが大切。費用の補助について所見を問う。

【町長】①養育費の取決めについて、情報提供や相談は非常に重要。専門機関と連携するなど、ひとり親世帯の身近な相談窓口として、伴走型支援を実施したい。

②養育費の民間保証会社の活用については、国も調査研究を実施している。本町でもメリット・デメリットや規制の在り方等を含めた多角的な観点から研究したい。

③養育費に関する取決めを公正証書にすることは非常に大切。本町でも、公正証書作成への助成制度導入に向けて研究を進めている。

湯梨浜町農業の再生を求めて

町長 JA、県と連携し施策を推進していく



まつおか あきひろ 松岡 昭博



無人ヘリによる防除の省力化

【問】日本の農業は、規模拡大や効率化を目指してきたが、現実には兼業化・高齢化・後継者不足が進展してきた。一方、世界的経済学者の宇沢弘文氏は、農業は社会全体にとつての共通財産であると説く。

①町農業の現状をどのようにに捉え、今後どのようにに誘導しようとしているのか。

②担い手が不足しているところでは、積極的に集落営農組織の育成に取り組むべきでないのか。

③農業を再生するため、農業者に多面的機能維持等のための支援、収入保険の保険料の助成を行うてはどうか。

【町長】①農業が基幹産業として発展していくために、明確に実現する作業を県・JA等の関係機関と情報共有しながら推進している。

②町独自の支援「担い手ステツプアップ事業」を創設し、集落営農を推進してきた。

平成26年、7組織から14組織に増加。各地域部落の課題と向き合つて、JA・県と連携し持続発展させたい。

③農業再生協議会を通じて、転作など有効利用して収入の確保に努めている。収入保険については、町独自支援制度を設けており、さらに上乗せ補助は考えていない。

公共施設の管理は

教育長

建物管理しながら跡地利用を検討

【問】本町では、町の施設を管理するため、総合管理計画や個別施設計画が作成されている。その中に対処方針が廃止となっている施設が2つある。

①個別施設計画には、「旧岡本邸」、「青少年の家」は老朽化が激しく、用途廃止し解体撤去を実施するとある。いつ解体するのか。

②施設解体後の町有地、利用廃止となった施設の敷地は、夏場などは適切な管理にはほど遠いと思う。どのような方針の下に管理しているのか。

【町長】①指摘された2施設は、行政財産であり、毎年必要経費を計上して維持管理している。しかし、住民の方々から管理不十分と指摘もあり、適切な管理に取り組んでいく。解体後の公共用地の有効活用にも継続して取り組んでいく。

【教育長】②「旧岡本邸」の解体は、所蔵文書、東郷地内発掘遺物の収蔵場所、解体の財源、跡地利用について検討を進めたい。「青少年の家」は、利用廃止。跡地利用が決まるまで中央公民館泊分館の備品等の保管場所として建物維持して活用したい。



荒廃が進む旧岡本邸

子育て支援、さらなる充実を

町長

引き続き努力する

【問】①政府は、専業主婦や育児疲れを抱える保護者を支援するため、未就園児を定期的に預かるモデル事業に乗り出す。本町の取組みは。

②厚生労働省は、保育士の確保に向け、給与の改善、保育保護者の雇用支援などに取り組んでいる。町独自の取組みは。

③こども園入園の可否通知、少しでも早くこの要望がある。また、7月1日以降の入園希望は、3ヶ月前からの受付である。就労に向け、速やかな通知が望まれる。

【町長】①本町では「未就園児一時預かり事業」を実施しており、多くの方に制度を活用していただいているので、今後も努力していく。

②保育士確保の町独自の取組みとして、独自の採用試験の実施、給与の改善、新聞折り込みなどを行なった。

令和5年度からは、保育士派遣を人材派遣会社に委託する予定。

③園児受け入れ数は、各こども園・保育園の職員の配置人数に応じたものとなる。決定次第、電話で連絡するようにしているが、決定を速やかにできるよう努める。



みんなの笑顔が素敵 保育士研修に力を入れるニチイキッズ 湯梨浜長江保育園

世界的な食糧危機の今、 農林漁業施策の大転換を

町長 県と協力し国へ要望



のぶはら かずひろ
信原 和裕

【問】昨年からのウクライナ戦争による穀物価格の急騰や品不足等で町内農林漁業従事者の減少・高齢化・荒廃農地の拡大等の問題が、より際立ってきた。そこで、町長に次のことを確認し要望したい。

【町長】①ウクライナ紛争により穀物の高騰、飼料価格の上昇が起きている。国内の農業生産の増大を図り、輸入及び備蓄を適切に組み合わせる必要がある。町としても肥料費上昇分の支援など、これからも農業者を支援していく。



広がり続ける耕作放棄地

②国や県と共に農業生産者確保のためのいろいろな事業を活用し支援していく。価格保障、所得補償については収入保険制度がある。

③食料自給率100%に向け、国や県に積極的な要望活動の実施を。

③県と情報共有しながら、必要に応じて国へ要望などを行なっていきます。

高校生通学費助成拡大を

教育長 他の制度の活用を



ますみ
増井 久美

【問】高校生の通学費助成は、月額7000円を超える場合、県と市町村で助成している。しかし、この7000円というハードルが高く、補助対象にならない家庭が多くあるのではないかと。助成額を引き上げはどうか。

【教育長】この制度は、経済的負担の軽減と教育の機会均等を目的に、令和2年に県と共に始めた制度で、利用者も順調に増えている。だが、通学方法は公共交通機関だけではないため、これ以上の補助はできない。授業料の減免制度等、他の制度の活用も考えてほしい。また、今、湯梨浜学園高等学校に兵庫県新温泉町から全日制に2名、通信制に1名、通学している。しかし、地域の活性化や公共交通機関存続への効果も限定的で、県外通学生への助成は考えていない。



高校生も利用する松崎駅

羽合小学校の教室不足の 対応は

教育長 増築工事を計画

【問】①国保税の子ども「均等割」をなくしては。②子どもの特別医療費助成を、18歳まで窓口負担完全無料にするべきでは。③町の子育て支援策について問う。

【町長】①国保税の子ども均等割の減免制度が令和4年度から始まっており、今はそれ以上はできない。②子どもの特別医療費助成制度の18才への拡大は平成28年度から始まっており、今後の国の制度充実に期待したい。

【教育長】(ハ)羽合小学校は、今、通常学級18・特別支援学級9、合計27学級だが、令和10年には合わせて4学級増が予想される。そのため、令和6年度利用開始予定で、校舎南側に教室の増築工事を計画している。



増築予定の羽合小学校

議会HP情報

湯梨浜町議会では、議会HPを活用した情報発信も行っています。

令和3年9月に行った、こども園で3歳以上の園児に対する白ごはんの提供に関するアンケートの結果や町の回答についてもHPでご覧いただけます。議会のデジタル化を進めて、議会の情報公開も進めていきたいと思っています。



こども園の「白ごはん」提供について

傍聴に来られた方のマスクの着用について

・マスクの着用は、個人の判断で着脱をお願いします。
・隣の方との距離をとってお座りください。

事務局人事異動

旧局長



山根 薦

お世話になりました。

新局長



杉原 美鈴

よろしく申し上げます。

事務局体制

新) 局長：杉原 美鈴 書記：岡本 啓吾
旧) 局長：山根 薦 書記：谷本 愛香

町民インタビュー



「全国のフラ愛好者でハワイアロハホールをいっぱいになりたい」

プアニニ・フラスタジオ 小瀧 恭子 さん（長江）

「日本のハワイ」と親しまれてきた湯梨浜町。自然がとて豊かで、穏やかな田園風景が広がり、人々の温かい心に癒される町。

平成8年、ハワイ郡のヒロと姉妹都市を結ばれて交流が盛んになり、地元のアロハホールで開催されたフラのフェスティバルには、本場のハワイからゲストと共に全国からたくさんのフラ愛好者が集まり、ハワイの風を感じさせてくれた。

そんな私もフラ愛好者のうちの一人。ハワイの文化であるフラを学ぶためにハワイ島のクム（先生）ナニ・リム・ヤップ氏のもとを何度も訪れた。そして湯梨浜の地にフラのスタジオ兼住居を構え、たくさんのメンバーにフラを伝え楽しんでいる。

フラの題材となるメレ（詩）の中にはハワイの風、揺らぐ樹々の香り、そこに降る雨、素朴な人々の心などフラ独特の詠唱や系譜があり、私たちが普段忘れかけている大切なものを呼び戻してくれる。フラは単なる踊りに

とどまらず、私たちに生き方を教えてくれる。日本の文化とハワイの文化が融合しあって、私たちの人生を豊かなものにしてくれると信じている。

昨年11月13日、20年以上も交流のある地元のフレンドシップフラハワイの方々と、大好きなアロハホールで、皆さんの笑顔に囲まれながらフラのフェスティバルを開催させていただいた。コロナ禍前以上に多くのフラ愛好者が全国から集まり、アロハホールがいっぱいの湯梨浜町になっていくことを願い、これからも楽しく活動していきたい。



議会の傍聴をお気軽に

議員が、議場でどんな発言をしているのか。どのような町づくりを考えているのか。今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。どなたでも傍聴できますので、役場3階へお気軽にお越しください。

議会の日程は、広報ゆりはま、防災行政無線放送、町ホームページでお知らせします。

次回の定例会は

6月9日(金)～
午前10時開会

※日程は変更になる場合があります。
詳しくは町ホームページへ。

編集後記

22年ぶりとなる議会議員に復帰し早2年。「選挙で議員を選びましょう」を掲げての立候補であったが、復帰して浦島太郎を感じる。

経済成長関連事業が中心だった以前と異なり、教育・福祉・介護等々きめ細やかな施策が待ったなしで目白押し。60万人を下回った鳥取県の人口は、中部全域が際立って減少し、湯梨浜町でも東郷・泊地区が過疎対象地域になった。

「人にして遠き慮りなければ、必ず近き憂い有り」とおり、将来を見据えた自治体行政にしっかりと対応しなければと痛感している。

（記 磯江）

【編集】

議会広報常任委員会